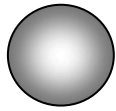


3章 まちづくりの理念と将来都市像



1. まちづくりの理念

本別町のまちづくりは、町の上位計画である「第7次本別町総合計画」（2021年～2030年）で示す、まちづくりの理念・将来像にもとづき取り組んでいきます。

【まちづくりの目標】

『心を合わせて みんなの笑顔を 未来につなぐ』

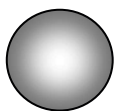
健全な財政運営のもと、安全・安心な暮らしを維持するために住民福祉の質と良好な生活機能を堅持するとともに、環境に配慮した取り組みを通じて、将来の世代が永続して営みを継続できる社会の形成を目指します。

「わたくしたちは、十勝の原始林をひらき、戦禍の焦土から立ち上がった、強くたくましい開拓精神を受けつぐ本別町民として、誇りと責任をもち、こころと力を合わせ、未来へ前進することを誓います。」

これは昭和42（1967）年11月に制定された本別町民憲章の前章です。これまで本別町総合計画はこの町民憲章を継承して作成されてきています。しかし、人口減少、厳しい財政状況、地球規模での環境保全など社会の変化に対応していく必要があることから、これまでの姿勢にあらたな対応策を加えてまちづくりを進めていきます。

5つの施策

- ・安定した産業から、わくわく笑顔をつくり出すまち
- ・人と人のつながりで、いきいき笑顔で暮らすまち
- ・豊かな心と、きらきら笑顔を育むまち
- ・安全と安心を確保して、にこにこ笑顔で暮らすまち
- ・みんなの笑顔を未来につなぐまち



2. 将来都市像

本別町特性、都市づくりの課題やまちづくりの理念にもとづき、人や自然にやさしく、先人たちの築いたこの素晴らしい郷土を守るため、市街地の“将来都市像”を次のように定めます。

【将来都市像】

